

■ 入試関連日程 詳細は最新の募集要項で確認してください

	2027年4月入学者選抜※1			
	I期	II期	III期	III期B日程※3
個別の入学資格審査の切 (該当するもの※2のみ)	2026 7/31(金)	2026 9/18(金)	2026 12/11(金)	2027 1/8(金)
出願期間 (インターネット出願の登録期間)	2026 8/28(金) ～2026 9/4(金)	2026 10/16(金) ～2026 10/23(金)	2027 1/8(金) ～2027 1/15(金)	2027 2/5(金) ～2027 2/12(金)
試験日	2026 10/3(土)	2026 11/22(日)	2027 2/13(土)	(書類審査)
合格発表日	2026 10/9(金)	2026 11/27(金)	2027 2/19(金)	2027 2/26(金)
手続締切日	2026 10/16(金)	2026 12/4(金)	2027 2/26(金)	2027 3/5(金)

※1 「出願時点で日本国籍を有していない、且つ日本の有効な在留資格カードを有していない受験生」の入試日程時期は上記と異なります。専用の募集要項を確認してください。

※2 個別の入学資格審査に関する情報は、本学大学院ホームページまたは募集要項を確認してください。

※3 大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム(通信教育課程)「社会人推薦」のみ。

■ 説明会日程 事前申込制

	時間	開催場所	対 象
6/20(土)	12:00	対面:町田キャンパス	心理学実践研究学位プログラム (臨床心理分野・ポジティブ心理分野)
6/20(土)	12:00	対面:新宿キャンパス	言語教育実践研究学位プログラム 経営学学位プログラム 大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム 老年学学位プログラム
7/25(土)	13:00	オンライン	すべての学位プログラム
9/19(土)	13:00		
12/4(金)	18:30		



■ 入試事前相談

大学院課程の志願者は、出願前に「事前相談」を行うことができます。本学大学院の受験を検討するにあたり、研究テーマが指導可能なテーマであるかどうかを確認するために行われるものです。研究計画書作成の助言や、入試の内容に関することなどはお答えできません。専用のフォームよりお申し込みください。



※博士後期課程(国際学術研究学位プログラム、老年学学位プログラム)を志願する場合は、事前相談を必須としていますので、出願登録開始日1週間より前にお申し込みください。万が一、事前相談を行わずに出願をされた場合は、出願を受け付けることができませんので、ご了承ください。

※事前相談の有無や相談内容が、入試の可否に影響することはありません。

■ 入試過去問題

一部の学位プログラムでは過去問題を公開しています。MyPage+へご登録の上、ダウンロードが可能です。



募集要項



 **桜美林大学 大学院**
J. F. Oberlin University Graduate School

入試に関する
お問い合わせ

桜美林大学入学部インフォメーションセンター(町田キャンパス)

TEL:042-797-1583

[平日]9:00～17:00

URL: <https://www.obirin.ac.jp/academics/postgraduate/>

 **桜美林大学 大学院**
J. F. Oberlin University Graduate School

[入学希望者用パンフレット]

2027 年度入学者対象



国際学術研究科 国際学術専攻

【博士前期課程】

- 言語教育実践研究学位プログラム
- 心理学実践研究学位プログラム(臨床心理分野、ポジティブ心理分野)
- 経営学学位プログラム
- 大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム(通信教育課程)
- 老年学学位プログラム

国際学術研究科 国際学術専攻

【博士後期課程】

- 国際学術研究学位プログラム(経営学研究領域、心理学研究領域)
- 老年学学位プログラム

すべての学生の思いに応える 教育環境がある

「人生100年」時代をより豊かに生きる 多様なかたちの学びの実現を目指す

桜美林大学大学院は、自由に学修や研究に取り組める独立型大学院として、また実務家養成型大学院として、有用な人材を数多く育成してきました。私たちがいま目指すのは、「人生100年」時代をより豊かに過ごすための幅広い知識と教養、深い考察力の修得です。2021年度から導入した「学位プログラム」という仕組みでは、専門分野の垣根を取り払い、より広く深く学べる環境の実現を目指します。例えば、経営学専攻の学生は経営学の科目に、老年学や心理学といった異なる分野の履修を加えて学ぶことで、広い視点で自分自身の専門性やキャリアを広げることができます。デジタル化や人工知能が加速する現代社会では、人間の適応性や柔軟性が大きく求められます。これを好機と捉え、学生により多くの選択肢を提供しつつ、いつでもどこでも知識が習得できる「新しい学びの場」を実現したいと考えています。



大学院長・国際学術研究科長
雷 海涛
LEI, Haitao

桜美林大学大学院の3つのPOINT

POINT 1 研究領域

可能性が広がる ユニークな研究領域

老年学や大学アドミニストレーション、ポジティブ心理学など国内で唯一とも言える、時代を先取りしたプログラムを展開しています。

POINT 2 履修スタイル

領域を超えて 柔軟な学修が可能

たとえば経営学と心理学、心理学と老年学、老年学と経営学というように学問領域を超えた複合的な学修により、さまざまな可能性が広がります。

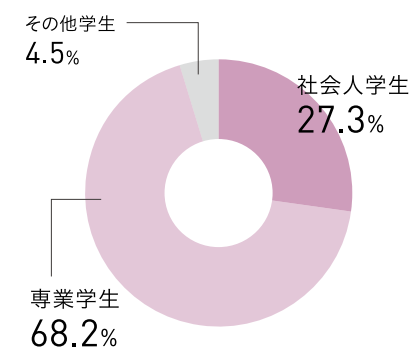
POINT 3 指導教員

多彩な指導教員の 丁寧な指導

それぞれの分野で豊富な実績を持つ教員のほかビジネスの第一線で活躍している実務家教員も多く、より実践的な指導を行います。

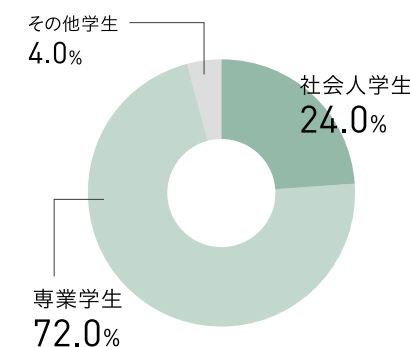
■在学生の構成データ

言語教育実践研究 学位プログラム



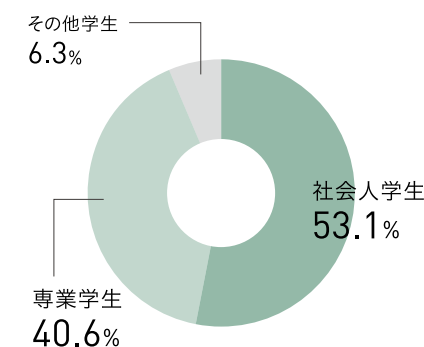
▶ 現職日本語学校教師、日本語教師をめざすストレートマスター、日本語学習経験をもつ留学生在籍しています。

心理学実践研究 学位プログラム(臨床心理分野)



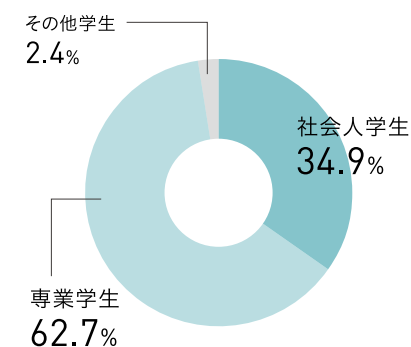
▶ 学士課程で心理学を学んだ方が多く在籍しています。

心理学実践研究 学位プログラム(ポジティブ心理分野)



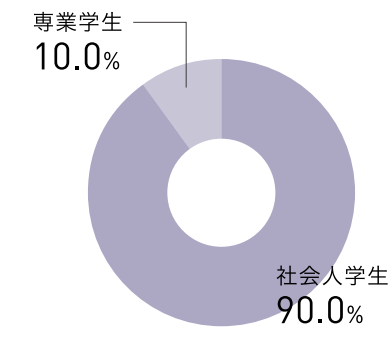
▶ 公認心理師をめざすストレートマスターだけでなく、多くの社会人学生も在籍しています。

経営学 学位プログラム



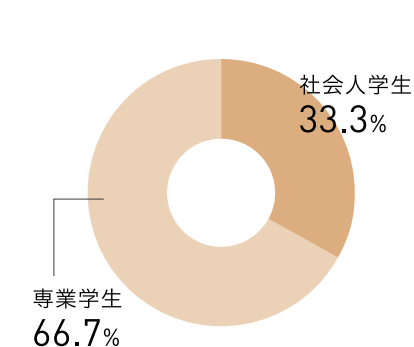
▶ 将来各種業界での経営のプロフェッショナルを目指す、幅広い業種・年齢層の方が在籍しています。

大学アドミニストレーション 実践研究学位プログラム



▶ 全国の国公立大学職員の方が中心に多く在籍しています。

老年学 学位プログラム



▶ 医療・福祉業界のみでなく、幅広い業種・年齢層の方が在籍しています。

■在学生の満足度

修士論文・研究成果 報告の指導

93.2%

研究指導・ 専攻演習の充実

94.5%

学んだカリキュラムの 将来への有用性

94.5%

※ 2023年7月～2025年3月に教育訓練給付金を受給した学生(146名)を対象にアンケート調査を実施

1 柔軟な学修計画で仕事と学業の両立を叶える 学修のすすめ方と長期・短期履修制度

大学院での学修の流れ

各学位プログラムにおいて修士の学位を取得するためには、34単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び最終試験に合格することが必要です。あるいは研究指導を受ける教員の承認のもとに、修士論文に代えて、研究成果報告を選択することも可能です。博士前期課程の場合2年間、博士後期課程の場合は3年間で標準修業年限です。科目を履修するにあたっては、学位プログラムによって科目分野別の必要単位数が定められているので、その要件を満たすように単位を修得する必要があります。



■通常の学修スケジュール

春入学の場合の例	入学	1年次		2年次		修了
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	
講義・演習	オリエンテーション	履修計画に基づいて単位修得				学位授与
修士論文／研究成果報告		研究指導教員による研究指導		修士論文作成 7月下旬～8月上旬	修士論文完成 最終試験 1月下旬	



長期履修制度を利用 最長で4年

職業を有している学生が原則として留年や休学をすることなく修業年限を越えて在籍し、研究を続けることを認める長期履修生制度を用意しています。博士前期課程は最長8セメスター（4年）、博士後期課程は最長12セメスター（6年）にわたる履修が可能で、学納金が減免されます。制度の利用には研究指導教員との相談が必要となります。

春入学の場合の例	入学	1年次		2年次		3年次		4年次		修了
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
講義・演習	オリエンテーション	履修計画に基づいて単位修得								学位授与
修士論文／研究成果報告								中間発表	最終試験	
学納金		正規の学納金(1年次)		正規の学納金(2年次)		30,000	30,000	30,000	30,000	

3年次以降の学納金は1学期あたり30,000円に
(博士後期課程は4年次以降最大6年まで)



短期履修制度を利用 最短で1年

短期履修生制度は博士前期課程に在学し、一定の要件を満たす場合に限り2セメスター（1年）もしくは3セメスター（1年と1学期）で修了できる制度です。計画的な履修及び研究について研究指導教員との相談が必要となります。

春入学の場合の例	入学	1年次		修了
		春学期	秋学期	
講義・演習	オリエンテーション	履修計画に基づいて単位修得		学位授与
修士論文／研究成果報告		中間発表	最終試験	
学納金		正規の学納金(1年次)		

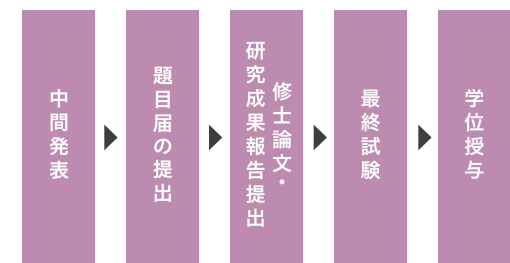
※長期・短期履修とも入学後（1セメスター目）の申請となります。

2 実務を通じての学位取得も可能 修士論文・研究成果報告

論文作成について

「修士論文」と「研究成果報告」の相違点は、「修士論文」が先行研究の調査、独創的なテーマ設定、関連資料の収集など学術的な取り組みが求められるのに対し、「研究成果報告」は実学的な検証を重視し、職場の業務内容に関連した問題をテーマとしたケーススタディが中心となることにあります。どちらも学位授与までの基本的なプロセスに相違はありませんが、「研究成果報告」の場合は観点が実務的なところにあり、身近な事例や業務を通じて集めたデータが主要な研究対象となります。

【論文・報告の作成の流れ】



修士論文・研究成果報告例

言語教育実践研究学位プログラム

【修士論文】

- 中国の日本語学科大学生の学習動機に関する研究
ーアニメ視聴が日本語学習の動機づけに与える影響からー
- 日本語教育実習における教授法の再考
ー非母語話者実習生の視点からー
- 地域日本語教室の取り組みと外国人就労者の日本語学習意識
■終助詞の用法と機能ー「よね」を中心にー
- 韓国語における丁寧表現の使い分け
■予想を基準とする程度を表す副詞の分析
ー「割と」と「意外と」を例としてー
- 〈と思う〉に関する日中対照研究ーテレビドラマの話し言葉を対象にー
- 上海語と日本語の音声的類似について

心理学実践研究学位プログラム(ポジティブ心理分野)

【修士論文】

- 従業員を雇用していない個人事業主のウェルビーイングに関する研究
ー仕事の要求度ー資源(JD-R)モデルによる検討ー
- 応答表出の捉えにくい重症心身障害者への継続的支援を動機づける要因の検討
ー生涯学習に取り組む元教師を対象にー
- 青年期の過剰適応傾向における感情認知に関する検討
- 大学生時代の正課外教育と就職後のプロアクティブ行動との関連
ー新卒採用者の組織社会化の視点からー
- 就労女性を対象としたメンタリングにおけるタッチケア介入効果の検証
- 母親のセルフタッチが被援助志向性に及ぼす影響
- 攻撃的ユーモア表出における受信者の意図推測と感情の生起について
ー受信者の心理的ウェルビーイング(PWB)との関連に着目してー

【研究成果報告】

- 自閉スペクトラム症児の受診困難に対する支援と親の心理的負担の軽減

心理学実践研究学位プログラム(臨床心理分野)

【修士論文】

- 母親・両親学級による親性準備性および育児自己効力感の変化
- 高校生を対象とした大学適応のための予防的ソーシャルスキルトレーニングの効果の検討
- テレワークにおける職場風土とマイクロマネジメントに関する基礎的研究
- 大学生において悩みを相談する過程の検討
ー対面での相談とLINEでの相談の比較ー
- 芸能人と他職種との間における職業性ストレスとワーク・エンゲイジメントの比較に関する研究
- 異なる防災教育が防災知識と行動に与える影響
- 容姿に悩む女性の苦しさの軽減プロセス
ーM-GTAを用いたインタビューデータの分析ー
- 青年期における強みを受け容れる困難さについて
ー被受容感と個人要因の視点からー

経営学学位プログラム

【修士論文】

- ブランドイメージが消費者の購買行動に与える影響に関する研究
ーファーストエイドの事例分析を中心にー
- 日本の製薬企業によるM&Aに関する考察
- 在中日系CVS業のビジネスモデルーローソン中国を中心にー

【研究成果報告】

- 据え置き型ゲーム業界におけるH/W・S/W開発戦略の考察
ー任天堂ゲーム事業の事例分析を通じてー
- SPAアパレル産業における延期と投機理論の適用性の考察
ー中国アパレル企業への示唆ー
- 日本における外国人従業員の人材定着に関する一考察
ー中国人従業員を中心としてー
- ラグジュアリーツーリズムにおける帝国ホテルの事業戦略分析
- 日本の自動車産業のEV化進展の遅れに関する考察ートヨタ自動車の事例を主にー

大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム(通信教育課程)

【修士論文】

- 公立大学法人における職員間の構造的なコンフリクトの研究
ー任用経路による違いを中心にー
- 米国の事例から見た日本の大学の地域連携担当者の専門職化に関する研究
- 高校生の主体的な職業選択を促すキャリアプランニングの取組について
- 出口における質保証のあり方に関する一考察
ーGPA制度活用の現状と課題に着目してー

【研究成果報告】

- ワンストップサービスによる学生支援体制の構築に関する一考察
ーSD研修の実践を通じた大学職員のグローバル人材育成ガイドラインの提案ー
- 知識基盤社会に求められる地域人材の育成
ー地方私立大学の文理融合カリキュラム構築からの挑戦ー
- 準備教育機関としての留学生別科の現状と課題

老年学学位プログラム

【修士論文】

- 有料老人ホームに居住する高齢者の社会活動への参加に関連する心理社会的要因
- 一人っ子世代の親の介護形態の選択に関する要因
- ケアマネジャーの金融リテラシーが認知機能の低下した高齢者の日常的金銭管理の支援に与える影響について
- 中国河南省における高齢通院患者の介護サービスニーズとその関連要因
ー商丘市を例としてー
- 在留資格「介護」を保持する外国籍介護人材の就労定着に関する研究
ーインタビュー調査を通じてー
- 中国に居住する高齢者の所得による健康格差

【研究成果報告】

- 人と関わるのが難しかった高齢者との音楽療法
ー音楽を媒(なかだち)としたケアとライフストーリーへのアプローチー

その他の学位論文は以下よりご参照ください



3

ニーズに合わせ多様な科目を用意

専門科目一覧(2026年度現在)

将来の変化を予測することが困難な時代の中で、ハイレベルな職業領域で活躍するために必要な専門的知識や実務能力を修得できる科目、資格取得を目指す科目など、時代をリードするプロフェッショナルを養成するための授業を多数展開しています。また、従来の研究者を養成する科目も展開しています。

学位プログラムとは

桜美林大学大学院では、専門分野の垣根を取り払い、より広く深く学べる環境の実現を目指し、2021年度から従来の「研究科」「専攻」制度を撤廃し「学位プログラム」を導入しました。この学位プログラムは、学生が学位を取得するに際し、当該学位のレベル及び分野に応じて達成すべき能力が明示され、それを修得するように体系的に設計された教育プログラムです。さらに各学位プログラムの中に科目の性質毎に科目をグルーピング(ユニット化)し、学習者のニーズに合わせ選べるよう、分かりやすい科目体系としています(ユニットはHPの履修ガイド参照)。

言語教育実践研究学位プログラム

P.11

■ 言語教育研究の統計的方法	■ 言語教育研究の質的方法	■ コーパス言語研究法
■ コミュニケーションとマルチモダリティ	■ 談話研究	■ 言語とアイデンティティ
■ 言語習得論	■ 社会言語学	■ 日本語教育政策研究
■ 生活者日本語教育研究	■ 年少者日本語教育研究	■ 言語学
■ 言語対照論	■ 言語学特論	■ 音声研究
■ 語彙研究と表記	■ 文法研究	■ 日本語教育・学習研究
■ 日本語教育実習	■ 日本語教育評価研究	■ 日本語教育文法研究
■ 日本語教育法	■ 日本語教育文法	■ 日本語学習アドバイジング

心理学実践研究学位プログラム(臨床心理分野)

P.12

■ 臨床心理学特論	■ 臨床心理査定演習	■ 臨床心理面接特論
■ 臨床心理基礎実習	■ 臨床心理実習	■ パーソナリティ心理学特論
■ 産業臨床心理学特論	■ 精神医学特論	■ 遊戯療法特論
■ 臨床心理地域・災害支援特論	■ 教育領域における認知行動療法特論	■ 心理実践実習(臨床心理学の支援)
■ 心理支援総合特論	■ 心理実践特論	■ 障害者心理学特論
■ ライフコースと健康教育	■ 犯罪心理学特論	■ システム(家族・集団・地域社会)と個人の心理学
■ 心の健康教育に関する理論と実践	■ 心理学研究法特論Ⅰ(量的分析の理論と実践)	■ 心理学研究法特論Ⅱ(質的分析)

心理学実践研究学位プログラム(ポジティブ心理分野)

P.13

■ ポジティブヘルス心理学特論	■ ライフスタイル特論	■ ポジティブ心理学諸技法E(認知行動療法・SST)
■ ポジティブ心理学諸技法B(動機づけ面接・リーダーシップ)	■ ポジティブ心理学特論	■ ポジティブ心理アセスメント
■ ポジティブ心理学的介入法特論	■ コーチング心理学特論	■ ポジティブ組織心理学特論
■ ポジティブ心理学諸技法A(コーチングスキル)	■ 心身医学特論	■ ソマティック心理学特論
■ ポジティブ心理学諸技法C(マインドフルネス・コンパッション)	■ ポジティブ心理学諸技法D(タッチケア・ボディワーク)	■ 心理実践実習Ⅰ(ポジティブ心理学的支援)
■ 健康心理現場実習		

経営学学位プログラム

P.14

■ 現代経営学概論	■ 現代経営組織学概論	■ 日中ビジネス概論
■ イノベーション戦略概論	■ 日本的企業経営概論	■ 経営学研究特論
■ ビジネス・エコノミクス研究	■ ミクロ経済学研究	■ 経営組織研究
■ ヒューマンリソースマネジメント	■ 人的資本管理論(サービス産業)	■ マーケティング研究
■ 経営戦略研究	■ 国際経営研究	■ 会計学研究
■ 管理会計研究	■ コーポレート・ファイナンス	■ サステナビリティ経営論
■ サステナビリティ経営論	■ 現代企業論	■ エンターテインメントインダストリー
■ エンターテインメント・プロジェクト	■ エンターテインメントリサーチ&テクノロジー	■ コンテンツマネジメント
■ イベント&プロジェクトマネジメント	■ ホスピタリティ&サービスマーケティング	■ サービスオペレーション
■ トラベル&エンターテインメントマーケティング	■ アントレプレナーシップ論	■ 資本政策論
■ デジタルビジネス創造論	■ 事業計画書策定	■ 日本的経営研究
■ 日中ビジネス経営	■ 日中企業におけるコーポレートガバナンス	■ 東南アジアにおけるビジネス研究
■ 現代日本経営史	■ グローバル企業研究	■ イノベーションの経営学
■ イノベーション戦略	■ 国際標準マネジメント研究	■ サステナブル経営システム研究
■ 企業と法	■ 企業倫理	■ 職業倫理研究
■ ビジネス統計分析	■ 特殊講義	

News

日本初！
シドニー
工科大学と
MBA連携を
開始！

桜美林大学大学院とシドニー工科大学大学院(UTS)のMBA連携プログラムが始まります。経営学の在学生あるいは卒業生は、シドニーで学びながら国際的な視野を広げ、通常2年間のUTSのMBAプログラムを1年間で修了し、学位取得ができます。UTSはAACSBの国際認証を受けたMBAプログラムを展開しており、充実した学びとキャリアの未来が広がる絶好のチャンスです！

【プログラム概要】

■コース名	■資格期間
JFOU×UTS MBA2+1プログラム	春入学あるいは秋入学から一年間
■費用	
AUS\$50,000／左記の金額から学費割引提供あり(入学時期により異なる)	



大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム(通信教育課程)

P.16

■ 高等教育論	■ 高等教育調査・分析法	■ 高等教育史
■ 大学国際化研究	■ 高等教育比較研究	■ 高等教育制度論
■ 大学政策・財政論	■ 大学と生涯学習	■ 大学経営環境論
■ 大学職員論	■ ICT活用教育論	■ 大学教学マネジメント論
■ 大学組織・人事マネジメント論	■ 大学財務マネジメント論	■ 大学IRとエンロールメント・マネジメント
■ 大学アドミッション論	■ 大学の質保証システム	■ 学習機会支援論
■ キャリア開発支援論	■ 学生相談論	

老年学学位プログラム

P.16

■ 老年学特論	■ 老年医学特論	■ 老年心理学特論
■ 老年社会学特論	■ 老年精神医学特論	■ 老年保健学特論
■ 老年看護特論	■ 老年臨床心理学特論	■ 回想心理学特論
■ 死生学特論	■ 老年ソーシャルワーク特論	■ 老年社会保障特論
■ 老年介護特論	■ 老年医学系研究法特論	■ 老年社会科学系研究法特論
■ 統計解析法特論	■ 質的研究法特論	■ 老年学文献講読・発表法特論
■ 老年リハビリテーション特論	■ 老年ヘルスプロモーション特論	■ 老年生活環境学特論
■ 専門職連携論	■ 老年ケアマネジメント特論	■ 高齢者サービス経営特論

※年度により開講科目の変更等があります。

4 支出を抑えながら学修が可能 学納金・奨学金情報／科目等履修制度 について



【学納金(学費)】

○博士前期課程 言語教育実践研究学位プログラム、 老年学学位プログラム				(単位:円)	
		1年次	2年次		
入学金		100,000	-		
春学期	授業料	500,000	500,000		
	施設設備費	50,000	50,000		
	卒業諸費	-	50,000		
秋学期	授業料	500,000	500,000		
	施設設備費	50,000	50,000		
年額合計		1,200,000	1,150,000		

○博士前期課程 大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム(通信教育課程)				(単位:円)	
		1年次	2年次		
入学金		100,000	-		
春学期	授業料	300,000	300,000		
	施設設備費	50,000	50,000		
	卒業諸費	-	50,000		
秋学期	授業料	300,000	300,000		
	施設設備費	50,000	50,000		
年額合計		800,000	750,000		

■「入学金」等について

2027年3月または9月に桜美林大学、桜美林大学大学院、桜美林大学日本語文化学院を卒業・修了見込みの方は入学金が不要です。その他の時期に卒業・修了した方の入学金は50,000円になります。

【実験実習費】

国際学術研究科国際学術専攻博士前期課程心理学実践研究学位プログラムのうち、臨床心理分野の学生、およびポジティブ心理分野において公認心理師の資格取得を目指す学生は、次の実験実習費を納入してください。

【奨学金】

奨学金は、学生の学習奨励や経済的支援を目的とした制度で、「給付型」(返済不要)と「貸与型」(返還必要)の奨学金があります。奨学金受給を希望する場合は、各奨学金の趣旨などをよく理解した上で申し込みをしてください。

■ 学内奨学金

○予約採用型奨学金(出願時に申請する奨学金)

①学而事人奨学金【減免】 ※博士前期課程対象
経済的困窮学生の修学支援と社会に貢献できる人材を育成することを目的に、授業料の一部を減免するものです。学業成績等に関する条件を満たすと、修了までの最大2年間減免となります。

○在学採用型奨学金(入学後に申請する奨学金)

①研究科奨学金【給付】
学内外問わず桜美林大学院生として顕著な活躍を見せた学生に対し、大学院が毎年度最大5人を定員として学生を推薦し、採用する奨学金です。採用された学生には、10万円が給付されます。
※本奨学金は推薦によって採用される奨学金のため、募集は行われません。

②外国人留学生学修奨励奨学金【給付・学内奨学金】

学業成績が優秀な外国人留学生に対して、更なる学業等への取組みを奨励することを目的とした奨学金です。採用後、1年間に渡り毎月3万円が給付されます。
※4月上旬に他の外国人留学生向け奨学金と併せてe-Campusに募集案内を掲出します。

○博士前期課程 心理学実践研究学位プログラム(臨床心理分野・ポジティブ心理分野)、 経営学学位プログラム				(単位:円)	
		1年次	2年次		
入学金		100,000	-		
春学期	授業料	600,000	600,000		
	施設設備費	50,000	50,000		
	卒業諸費	-	50,000		
秋学期	授業料	600,000	600,000		
	施設設備費	50,000	50,000		
年額合計		1,400,000	1,350,000		

○博士後期課程

国際学術研究学位プログラム、老年学学位プログラム

(単位:円)

		1年次	2年次	3年次
入学金		100,000	-	-
春学期	授業料	450,000	450,000	450,000
	施設設備費	50,000	50,000	50,000
	卒業諸費	-	-	50,000
秋学期	授業料	450,000	450,000	450,000
	施設設備費	50,000	50,000	50,000
年額合計		1,100,000	1,000,000	1,050,000

- 委託徴収金として、修了予定年次に卒業諸費(50,000円)を徴収します。
秋学期入学生は、修了予定年次の秋学期に徴収します。
- 履修する科目によっては別途実習費等が必要となります。

	1年次	2年次	合計
臨床心理分野	150,000	200,000	350,000
ポジティブ心理分野	0	350,000	350,000

※専門健康心理士資格取得のための現場実習を履修する場合、別途費用が必要となります。

②私費留学生奨学金【減免・学内奨学金】

学業・人物ともに優秀で経済困窮にある私費外国人留学生の修学支援を目的に、授業料の一部を減免する奨学金です。入試時に1学年24人を定員として募集します。

③家計急変家庭修学支援奨学金【減免】

家庭環境の急変(家計支持者の失職、破産、事故、火災、病気、死亡等)により家計収入が著しく減少し、修学の継続が困難となった学生に対して、授業料の一部を減免する奨学金です。上記事由に該当する場合は、学生課または 各キャンパス事務局(奨学金担当)までご相談ください。
※状況を確認し、本奨学金の申請要件を満たすと判断された場合のみ詳細の情報をご案内いたします。

④災害発生時の経済的支援【減免】

桜美林大学では、大規模災害が発生した際に、災害救助法適用地域で被災した世帯の在学生・入学予定者に対して経済的支援を図るため、お申し出により学納金等に対する支援措置を行っています。災害救助法の発令を受けて、随時大学ホームページの重要なお知らせに詳細の情報を掲載いたします。

【奨学金制度等についての問い合わせ先】 町田キャンパス 学生部学生課 (TEL:042-797-3128 受付 平日/9:00~17:00)

科目等履修生とは

科目等履修生は、本学で開講している授業科目を履修し、正規の単位を修得できる制度です。本学正規学生の教育・研究に支障のない範囲において、本学が認めた場合、履修することができます。「いずれ大学院に進学したいと思うが、今は通学できる時間が十分確保できない」「週1回程度なら受講できる」あるいは、「大学院に進学したいと思っているが、研究テーマを絞り切れていない」「大学院の授業についていけるかどうか不安である」等々の理由で大学院進学の前準備期間として本制度を活用していただくことができます。

	出願期間	費用(選考料、登録料、授業料)
2026年度秋学期	2026年8月6日(木) 9:00 ～8月19日(水) 17:00	選考料:10,000円 登録料:30,000円 授業料:60,000円/1単位 教材費:10,000円/1科目(一部の通信教育課程科目のみ)
2027年度春学期	2027年3月初旬頃(予定)	

【諸注意事項】

- 履修単位の上限:1学期あたりに履修できるのは6単位以内です。
- 受け入れ科目:実習科目や一部の専門科目など、科目等履修生には開放されていない科目があります。詳細は資料請求の上、ご確認ください。
- 定員および開講:通信教育課程(大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム)には定員があり、希望者が超過した場合は科目の振り替えをお願いすることがあります。また、履修者が3人未満の場合などは開講となる可能性があります。
- 通学定期券および学割証の発行はできません。

問い合わせ先

桜美林大学 大学院事務局
メール:g-school@obirin.ac.jp

科目等履修生制度の
詳細はこちら▶



教育訓練給付制度(博士前期課程のみ対象)

働く方々の主体的な能力開発やキャリア形成を支援し、雇用の安定と就職の促進を図ることを目的として、厚生労働大臣が指定する教育訓練を修了した際に、受講費用の一部が支給される雇用保険の給付制度です。
※受給には一定の条件があります。制度詳細は厚生労働省の公式サイトやハローワークへお問い合わせください。

専門実践教育訓練給付金

- 対象プログラム
・心理学実践研究学位プログラム(ポジティブ心理分野)

●給付金額

支給期間:2年間	在学中(受講中)	修了後
給付金額 (受給者が支払った教育訓練経費(※1) × 右記の場合)	教育訓練経費×50% (上限40万円/年×2年間)	教育訓練経費×20%の追加支給 (上限32万円)

最新の情報は厚生労働省のHPにてご確認ください。

一般教育訓練給付金

教育訓練経費の20%(上限10万円)

- 対象プログラム
・言語教育実践研究学位プログラム
・経営学学位プログラム
・老年学学位プログラム
・心理学実践研究学位プログラム(臨床心理分野)
・大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム

給付金の詳細を知る▶



桜美林大学大学院 国際学術研究科国際学術専攻 学位プログラム構成

学位プログラム		課程	キャンパス	開講				学位	入学定員	掲載ページ
				昼間	夜間	土日	集中			
言語教育実践研究学位プログラム Master of Arts in Linguistics and Language Education (日本語教員養成大学院課程 26単位コースを設置)		博士前期課程	新宿 (2025年4月より移転)	●	●	▲	▲	修士 (言語教育)	30人程度	11
心理学 実践研究学位プログラム Master of Arts in Psychology	臨床心理分野	博士前期課程	町田	●	●	-	▲	修士(心理学)	20人程度	12
	ポジティブ心理分野	博士前期課程	町田	▲	●	▲	▲	修士(心理学)	20人程度	13
経営学学位プログラム Master of Arts in Business Administration	経営学研究コース	博士前期課程	新宿	▲	●	●	-	修士(経営学)	100人程度	14
	MBAコース エンターテインメントマネジメント分野、 事業創造分野、アジアビジネス分野、 サステナビリティ分野									
大学アドミニストレーション 実践研究学位プログラム Master of Arts in Higher Education Administration (通信教育課程)		博士前期課程	新宿 (2025年4月より移転)	-	●	▲	▲	修士 (大学アドミニストレーション)	30人程度	16
老年学学位プログラム Master of Arts in Gerontology		博士前期課程	新宿 (2025年4月より移転)	-	●	-	▲	修士(老年学)	30人程度	17
国際学術研究 学位プログラム Doctor of Philosophy	経営学研究領域	博士後期課程	新宿	-	-	-	-	博士(学術)	15人	17
	心理学研究領域		町田							17
老年学学位プログラム Doctor of Philosophy in Gerontology		博士後期課程	新宿 (2025年4月より移転)	-	-	-	-	博士(老年学)		18

■ 時間割

時 限	
第1時限	8：50～10：30
第2時限	10：40～12：20
第3時限	13：10～14：50
第4時限	15：00～16：40
第5時限	16：50～18：30
第6時限	18：40～20：20
第7時限	20：30～22：10

町田キャンパス ※第2～7時限：主に講義及び演習科目を開講する時間帯

長期休暇(夏期・冬期)中に特別集中講義が行われる場合があります。平日は主として第2時限から第7時限が中心となります。一部の授業は土曜日にも設定されています。

心理学実践研究学位プログラムの授業について

※臨床心理分野の多くの授業は第2時限～第5時限に開講されています。

※ポジティブ心理分野の多くの授業は第6時限～第7時限に開講されています。
そのため、社会人の方も履修しやすくなっています。

新宿キャンパス ※第1～4時限：一部の講義・演習科目を開講する時間帯

※第5～7時限：主に講義及び演習科目を開講する時間帯

長期休暇(夏期・冬期)中に特別集中講義が行われる場合があります。社会人が多いことを考慮し、平日6・7時限および土曜日を中心に授業が行われます。一部の授業は日曜日に開講される場合もあります。

社会人学生が履修できるよう第6時限目以降に多くの科目を配置しています。

一部の授業は土曜日・日曜日に開講される場合もあります。

言語教育
実践研究学位プログラム

登録日本語教員養成機関・登録実践研修機関申請中*

博士前期課程

募集人員

30人程度

キャンパス

新宿キャンパス



C H E C K

- ☑ 言語教育現場での経験が豊富な教員による指導
- ☑ 学内の日本語教授業見学やTAとしての実践経験
- ☑ 多様な経歴を持つ幅広い年齢層の学生どうしの学びあい
- ☑ 都心に立地し、多様な情報にアクセスしやすいキャンパス
- ☑ 土日や夜間の時間帯の開講により働きながら学ぶ社会人にも対応

言葉を究め、自律を育て、学び続ける ー日本語教育+αで、成長する日本語教師へー
言語教育実践研究学位プログラムでは、日本語教師としての専門性に加え、言葉を深く理解し、主体的に学び続ける姿勢を育みます。

言語学や言語教育学の理論発展を担う研究者の育成

大学院日本語教員養成課程・
大学院日本語教員実践研修課程

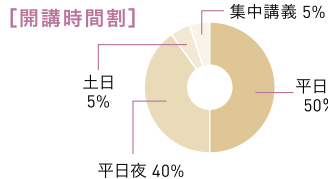
大学院日本語教員養成課程では、日本語教育に欠かせない本質的な知識と技能を学び取ることができます。大学院日本語教員養成課程の修了者は、日本語教員試験の基礎試験が免除されます。大学院日本語教員実践研修課程では、日本語教育実習を通じて、より実践的な技術と経験が獲得できます。

獲得できるスキル・資格

- 言語学に基づく分析力と研究力
- 日本語教育の高度な実践力と研究力
- 国家資格「登録日本語教員」
(日本語教員試験の応用試験合格が別途必要)

修了後の進路事例

国内外の日本語教育機関、大学などの研究機関、公的国際機関、国際交流基金・JICAなどによる海外派遣、NGO／NPO、各種民間企業など



指導教員一覧

黒田 史彦 教授
日本語教育実践研究／
日本語学習支援

非母語として日本語を学ぶ人たちが、個別最適な学びを実現できるヒト・モノ・コトの環境の整備に取り組んでいます。現在、学習者オートノミーの発動を促す日本語学習アドバイジングに加え、よい書き手への成長を支える日本語アカデミック・ライティング支援に注力しています。両分野の支援者育成では、実践知を可視化し、共有するためのパターン・ランゲージという手法を用いています。



茶谷 恭代 准教授
日本語学／日本語教育

専門は日本語学。特に文法・語彙研究です。ある語や言語形式の多義・多機能がどのように広がり、類義の表現とどのように異なるかということを多くの事例から記述することを研究課題としています。言語現象に潜む法則を明らかにすることに関心がありますが、日本語教育の経験から、学習者にどのように提示することが言語の教育や学習に役立つかということも念頭において研究をしています。



長渡 陽一 特任准教授
言語学／音声・音韻論／
アラビア語学／朝鮮語・韓国語学

言語学、中でもアラビア語諸方言の文法、方言地理のほか、マルタ語、朝鮮語・韓国語の研究をしています。地理言語学プロジェクトではセム諸語を担当し、語彙・文法地図を作成しています。ダイグロシア(二層言語)であるアラビア語の口語・文語の統合的な教授法や語彙集も研究しています。各個別言語の音声・音韻、文法、方言、地理の研究や通言語的類型論研究、対照研究も歓迎します。



※齋藤伸子教授は2026年度末に退任予定。

■ その他 授業担当教員

- ・池田智子教授：「コミュニケーションとマルチモダリティ」担当。専門はコミュニケーション学(相互行為研究)、日本語教育。
- ・雷桂林教授：「言語対照論」担当。専門は中国語学、日中対照言語学。日中同形語、反転語の意味機能、時空間における位置付けに関する文法現象を研究。
- ・このほか、それぞれの科目に応じた専門家を非常勤講師としてお招きし、科目を多数開講しています。

*ただし、文部科学省における審査の結果、予定した日本語教員養成課程および実践研修課程が開設できない可能性があります。その場合でも、Cルート(26単位コース)を修了して応用試験に合格することで取得可能です。

学生の声

安ヶ平 菜都子
言語教育実践研究学位プログラム
博士前期課程2年

Q 今の仕事・業務内容

日本語教師

Q 入学動機

修士学位を取得しつつ、日本語教育や言語学を深く学ぶため

■ 講義日のスケジュール

4:45

起床・通勤(文献講読)

8:40～12:00

日本語学校で勤務

13:30～20:20

講義・課題レポート作成
日本語学校の授業準備

21:30

帰宅

Q 研究内容

文末「の」の用法

Q 今後の展望

大学での日本語講師、国際交流基金の日本語専門家、幅広い分野で日本語教育に関わりたい

詳細なインタビューはこちらをCheck

心理学 実践研究学位プログラム

臨床心理分野

博士前期課程

募集人員

20人程度

キャンパス

町田キャンパス



C H E C K

- ✓「臨床心理士」の受験資格の取得が可能
- ✓「公認心理師」の大学院における対応カリキュラムを整備
- ✓経験豊かで多彩なスタッフがチームワークで行う丁寧かつ実践的な指導

臨床心理学を基盤学問とする「クールな頭」(知識・技術)と「温かなハート」(態度)を兼ね備えた、実践力のある公認心理師・臨床心理士を養成

現代の加速度的に多様化する問題に向き合うために、クライアントを中心に置いた統合的アプローチを軸とし、精神医療現場における当事者家族支援、自然災害や感染症拡大などに伴って必要とされる地域災害支援、子どもたちの学校適応への支援、働く人々の健康やキャリアの支援などで第一線に立つ専門家が実践と研究を推進しながら教育に携わっています。

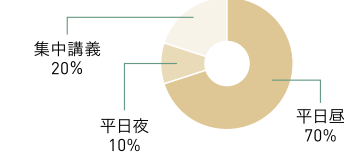
取得できるスキル

- 臨床心理士／公認心理師
- 心理検査、認知行動療法、遊戯療法、力動的心理療法、統合的な考え方、自己マネジメント力、家族支援、災害支援、キャリア支援 など

修了後の進路事例

医療機関、学生相談室・教育相談所、学校(スクールカウンセラー)、EAP関連企業、児童相談所、障害者支援施設等の「公認心理師」及び「臨床心理士」、公務員、教育研究職 など

【開講時間割】



指導教員一覧

池田 美樹 准教授 臨床心理学／認知行動療法／地域・災害支援	保健・医療領域での認知行動療法、ストレスマネジメントを主たる専門としています。緊急事態・災害時のメンタルヘルスと心理社会的支援では、平時から地域における多領域／多職種の連携と協働のための体制作りに関わっています。最近取り組んでいる研究テーマは、支援者やアスリートのメンタルヘルスです。日常から非日常場面のメンタルヘルスの問題に関するテーマの指導を行います。	
井上 直子 教授 臨床心理学／集団精神療法／面接技法／支援者支援	対人支援職への支援、統合的心理療法の面接技法と訓練に関心があります。また、面接効果の重要な要因である支援関係の構築を重視した、力動的・統合的な立場からの臨床家の育成がライフワークです。特に「共感的理解」「適切な支援者側の自己開示」を軸とし、支援者側の「感情体験」と「観察自我」の活用を大切にしています。現実的に取り組み可能な幅広いテーマの修論指導を行います。	
小関 俊祐 准教授 認知行動療法／ストレスマネジメント／教育・特別支援教育分野	子どもと、子どもに関わる方(保護者、教職員等)の直面する課題や問題に対して、認知行動療法に基づく支援と研究を行います。特に、子どもの抑うつ、学校適応、特別支援教育、療育、ペアレントトレーニングがキーワードになります。主な研究課題は、未就学から高校生までの学級集団を対象としたストレスマネジメント教育と、発達に課題のある子どもとその保護者、支援者に対する支援です。	
種市 康太郎 教授 産業臨床心理学／産業精神保健／キャリア心理学	産業・労働分野におけるメンタルヘルスやキャリア発達に関する支援を専門としています。個人の相談、支援に留まらず、職場組織に対するコンサルティングにも取り組んでいます。論文指導においては、産業・労働分野に関わらず、臨床心理学に関する幅広いテーマに対応しています。	
山口 一 教授 臨床心理学／臨床精神医学／家族支援	医療・福祉・教育・産業分野におけるメンタル不調をきたした方およびそのご家族の支援を専門としています。困難な状況においてもそれを克服する力(レジリエンス)を重視し、本人の強みを活かす支援を考えています。論文指導では、レジリエンスやソーシャルサポートの考え方を基盤として、院生の希望も考慮し、いじめ体験の克服、大学への適応など幅広い分野やテーマを指導しています。	

学生の声

石井 菜々子
心理学実践研究学位プログラム
臨床心理分野
博士前期課程2025年度修了

Q 今の仕事・業務内容
桜美林大学学士課程から大学院への直接進学

Q 入学動機
臨床心理士・公認心理師の資格取得

Q 研究内容
大学生において悩みを相談する過程の検討
一対面での相談とLINEでの相談の比較

Q 今後の展望
困りごとを抱えるお子さんやそのご家族と向き合い、一人ひとりの気持ちに寄り添える臨床心理士／公認心理師

詳細なインタビューはこちらをCheck

■ 講義日のスケジュール

8:00 起床	10:30～18:30 内部実習	20:00～21:30 帰宅・夕食	21:30～25:00 修士論文・試験勉強	25:00 就寝
------------	---------------------	----------------------	--------------------------	-------------

心理学 実践研究学位プログラム

ポジティブ心理分野

博士前期課程

募集人員

20人程度

キャンパス

町田キャンパス



C H E C K

- ✓「専門健康心理士」の受験資格の取得が可能
- ✓「公認心理師」の大学院における対応カリキュラムを整備
- ✓授業は平日夜間や週末を中心に開講し、オンラインも活用

ポジティブ心理学を基盤学問として個人、組織、地域社会のウェルビーイング向上を支援する専門家・高度職業人・研究者を養成

公認心理師と専門健康心理士の資格取得も目指す！

ポジティブ心理学は、「人や集団、組織が最適に機能し、繁栄に至る条件や過程を明らかにする学問」として、医療やビジネスをはじめ多くの分野で世界的にその活用が期待されています。さまざまな実践経験を有する教員による現場に則した指導で、包括的なスキルを身につけることができます。

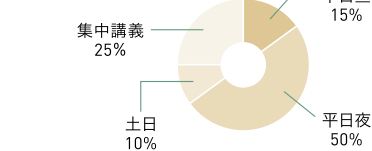
取得できるスキル

- 公認心理師／専門健康心理士
- 社会的スキル訓練、認知行動療法、動機付け面接、タッチケア、コーチング など

修了後の進路事例

公的機関や企業の心理専門職、児童福祉や障がい者支援のリーダー、高等教育機関での教育研究職、起業、研究者 など

【開講時間割】



指導教員一覧

久保 義郎 教授 リハビリテーション心理学／認知行動療法	リハビリテーション病院での心理職経験を基盤に、障害がある人への支援を研究しています。リハビリテーションでは障害の改善だけでなく、十分な改善が得られない場合でも、その人が望む生活を実現する方法が探求されてきました。QOLを高めるには困難の軽減だけでなく、ポジティブを増やす発想も重要です。この発想は障害の有無に関わらず、あらゆる人に当てはまると考えています。	
鈴木 平 教授 実験心理学／心身の総合的な健康／データ解析と研究法	実験心理学、心身問題・心身相関、心身の総合的な健康などが主な研究テーマです。カオス・複雑系科学を含めた研究の方法論に興味があります。生理・行動データの解析には特に力を入れています。サブテーマとしては、対人コミュニケーションの問題や東洋的な心理学の探究にも興味があります。仏教的な心理学が注目を集めていますが、キリスト教的な心理学にも取り組んでいます。	
前場 康介 准教授 健康心理学／ポジティブ心理学／キャリア心理学／産業・組織心理学	健康心理学およびポジティブ心理学における諸概念、特にセルフ・エフィカシーを主な研究対象としています。現在は大学生や若年労働者のキャリアに伴うセルフ・エフィカシーとその影響要因についての基礎研究を行っています。その他、労働者における職業性ストレス低減のための解決志向アプローチなど、実践研究も視野に入れています。	
松田 チャップマン 与理子 教授 ポジティブ組織心理学／健康心理学／働く人のウェルビーイング	ポジティブ組織心理学、健康心理学を専門分野とし、主な研究テーマは、働く人々の心身の健康やウェルビーイング、組織の繁栄です。マクロレベルでは、組織における会議の有効性(会議科学)、メゾレベルでは、上司の部下育成を促すマネジリアル・コーチング、ミクロレベルでは、両価性を解消して行動変容を促す動機づけ面接の活用や、ポジティブな時間の使い方の追求に取り組んでいます。	
山口 創 教授 臨床発達心理学／身体心理学	臨床発達心理学を専門とし、身体的アプローチとして触覚や身体感覚が心の動きに与える影響を研究しています。特に身体を基盤とした人間関係が、健康や幸福感に及ぼす効果に関する実証研究を行い、それらの研究成果を社会実装するための活動にも力を入れています。研究指導では、学生の自由な発想の主体的な探究を重視し、理論と実践を往還しながら深い学びを支援しています。	

学生の声

川竹 友子
心理学実践研究学位プログラム
ポジティブ心理分野
博士前期課程2年

Q 今の仕事・業務内容
学生(学士課程から大学院への直接進学)

Q 入学動機
ニューロフィードバックの研究に関心を示してくださる先生と出会えた

Q 研究内容
個人内における生体情報のゆらぎの同期と抑うつ状態が同期構造に与える影響について

Q 今後の展望
心理職として技術を磨き、心と身体の両面に働きかける支援を行える心理師

詳細なインタビューはこちらをCheck

■ 講義日のスケジュール

9:00～13:00 業務	14:00～15:30 内部実習	15:30～17:00 ゼミ	18:40～21:20 講義	22:30～24:00 課題レポート・論文読み
------------------	---------------------	-------------------	-------------------	----------------------------

経営学 学位プログラム

経営学研究コース／MBAコース

博士前期課程

募集人員

100人程度

キャンパス

新宿キャンパス



C H E C K

各分野で活躍する経験豊富な教員
による双方向の講義やゼミ

実際にビジネスを立ち上げるための
インキュベーションセンターなど実践
的な学びの環境も充実

経営学の様々な領域を学問的に学ぶことで、研究者を養成するとともに、 複雑化する国際競争社会の中での的確な企業経営の判断ができる 高度専門職業人を養成

複雑化する国際競争社会での的確な企業経営の判断ができる知識、スキル、発想、戦略的思考、柔軟性、
リスクテイクを兼ね備えた高度専門職業人を養成します。

取得できるスキル

- 常に時代の変化に順応し情報や知識を学んで獲得できる能力
- プロフェッショナルとしての即戦力となる実践力

修了後の進路事例

大学、シンクタンク、グローバル企業、国際交流
団体、政府機関、独立起業、博士後期課程への
進学 など

【開講時間割】



経営学研究コース

経営学の基盤ともいえる経営管理について理論的に・体系的に学ぶコース。マーケティングからファイナンス、経営戦略、組織論、HRMや法律まで、マネジメントに関する幅広い分野から、興味のある分野を深め、研究者を目指すことも可能です。

他大学には見られない「エンターテインメントビジネス」「事業創造」「アジアビジネス」「サステナビリティ」といった独創的な分野を学問的に学ぶことで、企業経営における高度専門職業人を育成します。

エンターテインメントマネジメント分野

これまで日本の大学院にはなかった、エンターテインメントビジネスのマネジメントに特化した分野です。さまざまなコンテンツやイベントなどのマネジメント手法を修得します。

アジアビジネス分野

経済大国へと成長した中国や躍進するアジア諸国のビジネスについて学んでいきます。大きな可能性を秘めたアジアのビジネスを牽引する人材を育成します。

事業創造分野

新ビジネスの創造時やスタートアップの創出時に特有なナレッジやノウハウを学び、起業を目指す人材や社内で新たなビジネスを立ち上げる人材を育成します。

サステナビリティ分野

企業経営には利益追求とともに社会的存在としての持続可能性との両立が求められています。国際標準やビジネス倫理の観点も踏まえ、これらを戦略的にリードする人材を育成します。

MBAコース

学生の声



程宇

経営学学位プログラム
博士前期課程2年

Q 今の仕事・業務内容

休職中(中国の学習塾での教務や進路指導)

Q 入学動機

日本の教育実践と人材育成について体系的に学ぶため

Q 研究内容

日中における大学新卒雇用に関する比較研究—メンバーシップ型とジョブ型の視点から—

Q 今後の展望

中国の教育業界で教育の質の向上に取り組みつつ、中日間の教育交流や協力に貢献

詳細な
インタビューは
こちらをCheck



■ 講義日のスケジュール

8:00

起床・講義予習・
資料確認

11:00

新宿キャンパス
到着・昼食

13:00～16:30

文献収集・
データ分析

16:50～20:20

対面講義

22:30～24:00

論文整理・
講義復習

指導教員一覧

五十嵐 元一 教授
経営学／
ホスピタリティ・マネジメント

ホテル実務経験を有し、米国で
ホスピタリティ産業学と日本で
経営学を修めました。業界の発展
を願い、理論と実務の往還
研究に努めています。



池田 聡 准教授
経営学／事業再生／
ファイナンス／M&A

金融、コンサル会社での経験を
もとに、ファイナンス・M&A実務
等について実証研究しつつ企
業の社外取締役など実社会で
の活動も継続中です。



川崎 友加 准教授
観光学／文化政策学

旅行会社での経験を踏まえ、
観光ビジネス、地域コンテンツ・
文化を活かした観光振興につ
いてマーケティングの視点から
研究しています。



北村 佳之 教授
PPP・PFI／地域活性化／
地域金融論／再エネ事業

地域活性化に取り組む全国各
地の自治体・企業(インフラ、農
林水産、観光、医療、交通、再
エネ)・金融機関の現状と課題
を研究しています。



齋藤 泰浩 教授
国際ビジネス

大学院の師匠やゼミの影響で
多国籍企業と受入国の関係か
ら多国籍企業そのものに関心
が移り、現在は立地選択や距離
の研究をしています。



境 睦 教授
投資管理論／
サステナビリティ経営論／
人的資本

投資管理とサステナビリティ経
営を研究対象とし、人的資本と
企業価値の関係を理論と実証
の両面から分析しています。



坂田 淳一 教授
デジタルビジネス

デジタルビジネスを専門に、技
術革新と経営戦略の融合を探究
し、大学院で理論と実践の両
面から先進的に日々教育・研究
に取り組んでいます。



坂本 雅明 教授
経営戦略／意思決定／
経営人材育成

経営戦略が専門で、研究手法
は比較事例分析です。既存理
論では説明できない「逸脱事例」
を典型事例と比較分析し、
新たな知見を提示します。



下島 康史 教授
観光学／経営学

レジャー(観光、スポーツ、エン
タテインメント含む)分野の消費
者行動や経営に関する調査
研究に力を入れています。



杉本 誠司 特任教授
社会学／
デジタルエンターテインメント／
コミュニティビジネス

デジタル技術を活用したビジネ
スやサービスのデザイン、マネジ
メントを研究し、近年はAIの実
践的活用の効果と課題に焦点
を当てています。



鈴木 勝博 教授
イノベーション・マネジメント／
アントレプレナーシップ

現代経営に欠かせないイノベー
ションとそのマネジメントにつ
いて、複合的なデータをもと、成
功要因や企業特性の影響を実
証的に研究。



谷 光 教授
観光学／エリアデザイン／
インバウンドビジネス

新規事業開発・企業内ベン
チャー法人の設立や、観光関連
BPOビジネス等の私自身の
経営実務と基礎理論の研究を
活かした授業を進めます。



董 光哲 教授
ヒューマンリソースマネジメント／
企業統治／モチベーション

経営資源の国際移転、企業統
治、組織におけるインセンティブ
について研究を行っています。



西川 正郎 教授
経済学／経済政策論／
ビジネスエコノミクス

マクロ経済と日本経済を専門
に。経済変動の仕組みやそれ
への対処、効率と公正が実現
されるミクロ的な経済政策に
関心。



馬場 正実 教授
流通マーケティング／
ファッション産業の企業戦略

ファッション産業の企業戦略を
研究しています。30年間の
ファッション企業での実務経験
を生かしプラクティカルな教育
と研究を提供致します。



宮本 文幸 教授
消費者心理／
マーケティング(見在目戦略の研究)

資生堂で商品企画・ブランド戦
略に携わり、現在はヒトとモノ
の売れる見在目をつくる「見
目戦略」として、製品デザインや
錯覚メイクを研究。



山口 有次 教授
エンターテインメントビジネス／
ホスピタリティ空間

アニメ、マンガ、映画、ゲーム、音
楽、コンサート、アイドル、テーマ
パークなどを含む、エンターテ
インメントビジネスについて研
究します。



雷 海濤 教授
グローバルビジネス／
イノベーション戦略

長年企業勤務の経験を基に、
グローバルビジネスとイノベー
ション戦略を研究。経済産業
界との幅広い交流を通じて高
い学修効果を目指します。



大学(学士課程)と大学院 博士前期課程の5年一貫教育プログラムを開始！

本学では、所定の要件を満たす学士課程の学生を対象に、大学院教育を前倒しし、学士課程4年間と大学院博士前期課程1年間を組み合わせた5年一貫教育プログラムを提供しています。本プログラムは、ビジネスマネジメントに関する高度な知識と実践力を効率的に修得できる点が大きな特長です。将来、理想の企業への就職や起業を目指す学生にとって、専門性を一層高める貴重な機会となります。実学を重視した教育を通じて、新たなビジネスモデルを創造できる力を養い、即戦力として社会で活躍できる高度プロフェッショナル人材の育成を目指しています。

大学アドミニストレーション 実践研究学位プログラム (通信教育課程)

博士前期課程

募集人員
30人程度

キャンパス
新宿キャンパス



C H E C K

- ✓ 全国どこからでも履修が可能な、大学経営分野で国内唯一の通信教育課程(同時双方型オンライン授業も行います)
- ✓ 学生の多くは全国の国公立大学職員で、豊富な事例や経験から相互に学び合う機会(スクーリング)あり

老年学 学位プログラム

博士前期課程

募集人員
30人程度

キャンパス
新宿キャンパス



C H E C K

- ✓ 医療・介護・社会福祉などを横断的・総合的に学ぶことができるカリキュラムと多彩な指導教員
- ✓ 心理学、経営学、社会学など領域を超えた学びにより、少子高齢化社会のリアルな課題に向き合うことができる

大学の行政・管理・運営にわたる専門的知識・能力を有する 大学経営の専門家「大学アドミニストレーター」を養成

グローバル化や少子高齢化、さらにはデジタルトランスフォーメーションなどの技術革新により急速に変化する現代。時代の行方を左右する大学などの高等教育の現場で、組織の中心となるリーダーに必要な知識やスキルを獲得します。

取得できるスキル

- 業務遂行力の向上や大学経営の高度かつ実践的な知識獲得
- 隣接する幅広い領域の知識獲得

学びの目標・修了後の進路

現在の職場でのステイタスアップ、大学等の教育研究機関、高等教育関係団体、国や地方の政府機関、教育関連企業 など

【開講時間割】



【履修の仕組み】



全国どこからでも修学可能

レポート指導

1科目 \ 2回

オンライン授業

1科目 \ 7コマ



新宿キャンパス

スクーリング*

1セメスター \ 3日

*一部の科目では、レポート指導やスクーリングを行わず、週末にオンライン授業を実施します。

指導教員一覧

2026年度時点

浦田 広朗 教授 教育社会学	経済学と社会学の視点から、高等教育の費用と効果の広がり把握することに努めています。		古賀 暁彦 教授 高等教育学 / 教育工学	大アド修了後、大学職員から教員にキャリアチェンジし、ICT活用教育の研究に取り組んでいます。	
小林 雅之 特任教授※ 教育社会学 / 教育経済学	高等教育政策、特に大学評価や大学財政、授業料と奨学金など教育費負担の問題を研究しています。		小山 竜司 教授 高等教育政策	理論と実務の架橋を目指して、高等教育政策論と社会教育・生涯学習論の二刀流に挑戦しています。	
鈴木 克夫 特任教授※ 遠隔高等教育論	大学におけるICT活用教育の研究に加え、遠隔教育の制度的、歴史的な研究に取り組んでいます。		山岸 直司 准教授 比較教育学 / 高等教育史	歴史と比較の視点からの高等教育の検討に加え、組織と大学のマネジメントにも関心があります。	

※近日公開予定

※2026年度末退任予定

学生の声

小間 貴之
大学アドミニストレーション
実践研究学位プログラム
博士前期課程2025年度修了

Q 今の仕事・業務内容
成城大学職員

Q 入学動機
高等教育政策や大学マネジメントを体系的に学ぶため

Q 研究内容
「出口における質保証」のあり方について
(GPA制度活用の現状と課題)

Q 今後の展望
機動的な学生支援や職場環境の充実にむけ、組織のマネジメントに携わりたい

詳細なインタビューはこちらをCheck

■ 講義日のスケジュール

5:00 起床・テキスト精読	8:30~16:30 勤務 (昼休みに図書館で文献収集)	17:30~19:00 帰宅・夕食	19:30~21:20 オンライン講義	22:00~24:00 レポート課題
-------------------	------------------------------------	----------------------	------------------------	-----------------------

国内大学院で唯一のプログラムで、高齢者のより広範な社会的参加を 実現するための専門的知識・能力を有する高度専門職業人及び研究者を養成

少子高齢化から派生するさまざまな社会問題には、もはや単一の学問だけでは解決できません。医学、看護学、福祉学のみならず、心理学、社会学、経済学など社会科学をも包含した学際的な学びを通じて、多職種連携の実践および研究の推進役を担う人材を養成します。

取得できるスキル

- 老年学の知識体系を活用するスキル
- 高齢者を対象としたさまざまな分野の実践を行うスキル

修了後の進路事例

保健医療・健康・福祉・介護関連の各機関、看護・福祉領域での教育や臨床専門職、企業、公共団体、グローバル企業、政府機関、NGO / NPO など

【開講時間割】



指導教員一覧

中谷 陽明 教授 社会福祉学	専門分野は、社会福祉、ソーシャルワークです。これまで、家族介護者の介護負担、児童の老人観、高齢者福祉施設の評価、施設スタッフのストレス、在宅サービスニーズの推計などの研究に取り組んできました。また、わが国のソーシャルワーカー養成教育、実習教育、遠隔教育といったトピックの研究にも取り組んできました。	
新野 直明 教授 老年学 / 老年医学 / 公衆衛生学 / 疫学	専門分野は、老年学、老年医学、公衆衛生学、疫学です。これまでの研究としては、高齢者の保健・医療に関する問題を扱ってきました。具体的には、高齢者の転倒の頻度、発生状況、危険要因などの実態と予防に関する研究、高齢者のうつに関する疫学的研究、介護予防に関する研究、老化に関する長期縦断的研究などに携わってきました。	
渡辺 修一郎 教授 老年学 / 老年医学 / 公衆衛生学 / 産業保健学 / 衛生学	老年医学、公衆衛生学、産業医学分野の研究、教育、実践活動に携わっています。主に健康長寿をめざす保健医療戦略に関する研究に取り組んでいます。そのための、食生活や運動、休養、就労などの社会活動、生活リズム、保健・医療・福祉サービスのあり方、ICTの活用などについて、地域住民、施設入居者、労働者を主な対象として、自治体や他施設とも共同して研究を行っています。	
長田 由紀子 特任教授 老年心理学	専門は老年心理学を中心とした生涯発達心理学です。高齢者だけでなく児童～老年までのそれぞれの段階の心理的諸問題について研究を行う中で、高齢者の心理的特徴やライフイベントの影響、満足度に関わる要因などを研究してきました。また、臨床心理的な関りを通して、心理支援を必要とする高齢者への非薬物療法などについて研究を行っています。	
杉原 陽子 教授 老年社会学 / 健康社会学	専門は老年社会学、健康社会学です。高齢期の諸問題が社会の中で形づくられる過程を紐解きながら、健康や生活に困難を抱えている人の実態を理解し、支援のあり方を探求しています。主な研究テーマは、「高齢期の健康や支援の格差と制御要因の解明」「高齢者介護に関する諸課題と支援策の検討」「高齢者の社会貢献(プロダクティブ・エイジング)とストレス・マネジメント」等です。	

学生の声

徳田 真人
老年学学位プログラム
博士前期課程2年

Q 今の仕事・業務内容
株式会社ユーズドネット 代表取締役社長

Q 入学動機
事業にアカデミックなエビデンスを添え、自治体への提案などにおける信頼獲得につなげるため

Q 研究内容
カードゲームを用いたグループ回想法

Q 今後の展望
事業を成功させることで、老年学の価値を世の中に広める

詳細なインタビューはこちらをCheck

■ 講義日のスケジュール

5:30 起床	6:00~17:30 業務(移動中に課題・論文講読)	18:40~22:10 オンライン講義	22:10~24:30 課題レポート作成
------------	-------------------------------	------------------------	-------------------------

国際学術研究学位プログラム

経営学研究領域／心理学研究領域

博士後期課程

募集人員 15人程度
キャンパス [経営学研究領域]新宿キャンパス [心理学研究領域]町田キャンパス



経営学・心理学の学術分野について、複合的な学修と学際的な研究活動で、国際的に通用する学術的研究者や高度な専門職業人を養成します。経営学・心理学担当の複数の教員による横断的なきめ細かな指導により、丁寧な論文作成プロセスの支援を行います。

取得できるスキル

プロフェッションにおける思考過程の中で、習慣、倫理、人間関係、行動様式等に係る学際的知識及び能力

修了後の進路事例

研究者、大学教員、グローバル企業、政府機関、NGO／NPO、国際機関 など

指導教員一覧

五十嵐 元一 教授 経営学／ ホスピタリティ・マネジメント	境 睦 教授 コーポレートファイナンス／ 投資管理／サステナビリティ経営	鈴木 勝博 教授 イノベーション／ アントレプレナーシップ	西川 正郎 教授 マクロ経済学／日本経済／ ビジネス経済学	董 光哲 教授 人的資源管理／ モチベーション論／企業統治
山口 有次 教授 エンターテインメントビジネス	雷 海濤 教授 経営学／国際ビジネス／ イノベーション戦略	任 雲 教授 企業経済学／産業組織論／ イノベーション論	井上 直子 教授 臨床心理学／力動論／ 支援者支援	鈴木 平 教授 実験心理学／心身問題／ 心身の総合的な健康／ データ解析と研究の方法論
小関 俊祐 准教授 臨床心理学／認知行動療法／ 教育・特別支援教育分野	種市 康太郎 教授 臨床心理学／産業・労働分野／ キャリア支援	山口 一 教授 臨床心理学／ 臨床精神医学／家族支援	山口 創 教授 対人関係／タッチング／ 育児支援／ボディワーク	松田 チャップマン与理子 教授 ポジティブ組織心理学／ 健康心理学

活躍する修了生



東京大学 大学院教育学研究科附属
学校教育高度化・効果検証センター
特任准教授

上野 雄己
国際学研究科
国際人文社会科学専攻 博士後期課程
(現:国際学術研究学位プログラム
心理学研究領域)2015年度修了

在学時の一日のスケジュール

10:00～12:00 データ整理	13:00～14:30 研究指導	14:30～16:00 データ解析	16:30～18:30 陸上部の指導 (コーチング)	20:00～26:00 論文執筆
----------------------	---------------------	----------------------	----------------------------------	---------------------

詳細な
インタビューは
こちらをCheck



老年学学位プログラム

博士後期課程

募集人員 15人程度
キャンパス 新宿キャンパス



学際的な視点から高齢社会の諸問題を的確に研究し、解明する能力のある高度な専門研究者、及び実践的応用の可能な能力のある高度専門職業人を養成します。専門分野の異なる複数の教員の指導で、高齢者を取り巻く課題をさまざまな角度から学際的に研究ができます。

取得できるスキル

- 老年学の知識を活用し新たな知見を作り出すスキル
- 高齢者を対象としたさまざまな分野の高度な専門的実践を行うスキル

学びの目標・修了後の進路

各種研究・教育機関、高齢者・少子高齢社会を対象にしたさまざまなサービス提供組織・機関 など

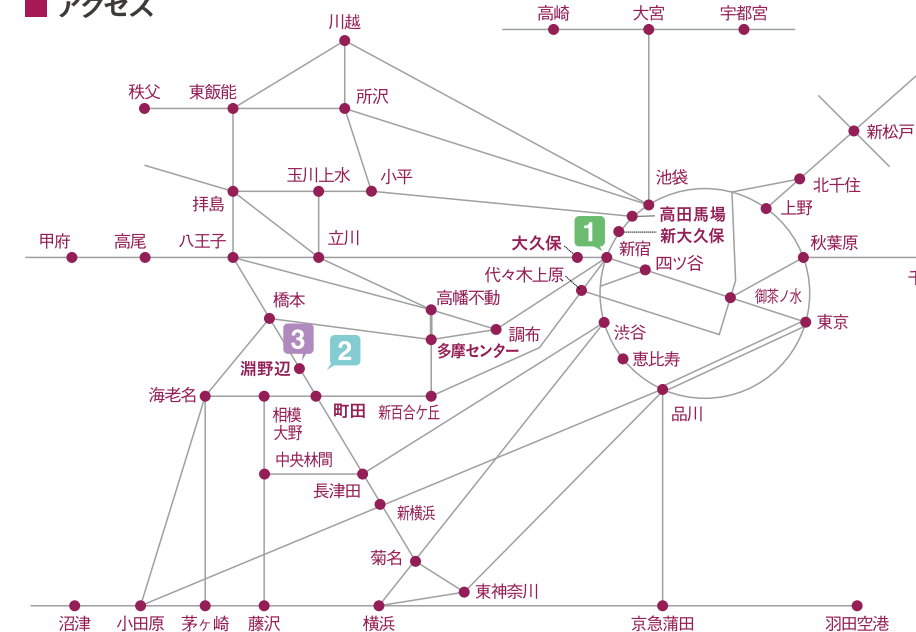
指導教員は老年学学位プログラム(博士前期課程)と同様です。P.17をご参照ください。

キャンパス紹介 Campus Introduction

アクセスやキャンパスの詳細はこちらをご確認ください



■ アクセス



1 新宿キャンパス



2019年に設立したキャンパス。大久保駅、新大久保駅からも非常に近く、都心で働きながらでも学びやすいキャンパスです。

東京都新宿区百人町3丁目23-1
JR新大久保駅より徒歩8分／
JR大久保駅 北口より徒歩6分／
JR高田馬場駅(戸山口)より徒歩13分

2 町田キャンパス



桜美林大学でもっとも歴史があり、最大のキャンパス。臨床心理センターも設置され、理論と実学を学べる環境があります。

東京都町田市常盤町3758
JR淵野辺駅よりスクールバスで約8分
多摩センター駅よりスクールバスで約20分

3 相模原キャンパス (心理学の一部講義を開講)

JR淵野辺駅より徒歩1分



※プラネット淵野辺キャンパスから名称変更

■ 大学院生の学修・研究環境

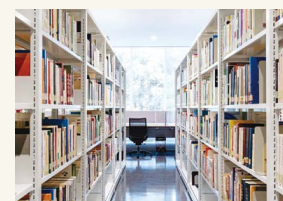
新宿キャンパスおよび町田キャンパスにおいて、それぞれの研究活動に適した学習環境を整えています。

新宿キャンパス

- 言語教育実践研究学位プログラム
- 経営学学位プログラム
- 大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム
- 老年学学位プログラム
- 国際学術研究学位プログラム(経営学研究領域)



教室



新宿南館図書館



臨床心理センター(相談室)



臨床心理センター(ブレイルルーム)



ナレジクラウド(電子図書館)



大学院生ラウンジ



大学院生ラウンジ



図書館